

出来形検査基準規格値 (単位mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
第1章 砂防堰堤	第3節 工場製作工	1-3-4 鋼製堰堤仮設材製作工	部材 部材長 ℓ (m)	$\pm 3 \dots \dots$ $\ell \leq 10$ $\pm 4 \dots \dots$ $\ell > 10$	図面の寸法表示箇所にて任意の部分 を測定。		
	第8節 コンクリート堰堤工	1-8-4 コンクリート堰堤本体工 コンクリート副堰堤工	基準高 ∇ 天端部 w_1, w_3 堤幅 w_2 水通しの幅 ℓ_1, ℓ_2 堤長 L_1, L_2	± 30 -30 ± 50 -100	図面の寸法表示箇所にて任意の部分 を測定。		
第8節 コンクリート堰堤工	1-8-6 コンクリート側壁工	基準高 ∇ 幅 w_1, w_2 長さ L	± 30 -30 -100	図面の表示箇所にて、任意の部分 を測定。 長さは、天端中心線の水平延長、 又は、測点に直角な水平延長を測 定。			
	1-8-8 水叩工	基準高 ∇ 幅 w 厚さ t 延長 L	± 30 -100 -30 -100	図面の表示箇所にて、任意の部分 を測定。 厚さは目地及びその中間点で測 定。			
第9節 鋼製堰堤工	1-9-5 鋼製堰堤本体工 (不透過型)	水通し部 堤高 ∇ 長さ ℓ_1, ℓ_2 幅 w_1, w_3 下流側倒れ Δ	± 50 ± 100 ± 50 $\pm 0.02H_1$	図面の寸法表示箇所にて、任意の部 分を測定。 ダブルウォール構造の場合は、堤 高、幅、袖高は+の規格値は適用 しない。			
	鋼製堰堤本体工 (透過型)	堤長 L 格 堤長 ℓ 格・B・L 堤幅 W 格 堤幅 w 格・A・B・L 高さ H 格・A・B・L 高さ h	± 50 ± 10 ± 30 ± 10 ± 10 ± 10	図面の寸法表示箇所にて、任意の部 分を測定。		格: 格子型鋼製 砂防ダム A: 鋼製スリット ダム A型 B: 鋼製スリット ダム B型 L: 鋼製スリット ダム L型	

出来形検査基準規格値（単位mm）

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
第1章 砂防堰堤	第9節 鋼製側壁工	1-9-6 鋼製側壁工	堤高 ∇	± 50	図面の寸法表示箇所、任意の部分 を測定。 ダブルウォール構造の場合は、堤 高、幅、袖高は+の規格値は適用 しない。		
			長さ L	± 100			
			幅 w1, w2	± 50			
			下流側倒れ Δ	$\pm H/500$			
			高さ	h < 3m h \geq 3m			
第2章 流路	第5節 床固め工	2-5-8 魚道工	基準高 ∇	± 30	施工延長100mにつき1箇所以上 測定。 製品使用の場合の製品寸法は、規 格証明書等による。		
			幅 w	-30			
			高さ h1, h2	-30			
			厚さ t1, t2	-20			
			延長 L	-200			
第3章 斜面对策	第6節 山腹水路工	3-6-4 山腹明暗渠工	基準高 ∇	± 30	施工延長100mにつき1箇所以上 測定。 なお製品使用の場合の寸法は、規 格証明書等による。		
			厚さ t1, t2	-20			
			幅 w	-30			
			幅 w1, w2	-50			
			高さ h1, h2	-30			
			深さ h3	-30			
			延長 L	-200			
	第7節 地下水排除工	3-7-4 集排水ボーリング工	削孔深さ \varnothing	設計値以上	5本につき1箇所以上測定。		
配置誤差 d			100				
せん孔方向 θ			± 2.5 度				
3-7-5 集水井工	集水井工	基準高 ∇	± 50	5本につき1箇所以上測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測 定。			
		偏心量 d	150				
		長さ L	-100				
		巻立て幅 w	-50				
		巻立て厚さ t	-30				
第9節 杭工	3-9-6 合成杭工	基準高 ∇	± 50	10本につき1箇所以上測定。			
		偏心量 d	D/4以内 かつ100以内				

出来形検査基準規格値 (単位mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
第1章 第4節 コンクリートダム	1-4 コンクリートダム工 (本体)	天端高	▽ ±20	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 堤高は、天端中心線延長を測定。 越流堤頂部、天端仕上げなどの平坦性の測定方法は、検査員の指示による。 監査廊の敷高、幅、高さ、平坦性等の測定方法は、検査員の指示による。			
		天端幅	±20				
		ジョイント間隔	±30				
		リフト高	±50				
		堤幅	-30, +50				
		堤長	-100				
	コンクリートダム工 (水叩)	天端高	▽ ±20	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 幅は、図面の寸法表示箇所で測定。 水叩の平坦性の測定は、検査員の指示による。			
		ジョイント間隔	±30				
		幅	±40				
		長さ	-100, +60				
	コンクリートダム工 (副ダム)	天端高	▽ ±20	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 堤長は、図面の寸法表示箇所で測定。			
		ジョイント間隔	±30				
		リフト高	±50				
		堤幅	-30, +50				
		堤長	±40				

(注)1. j : ジョイント

出来形検査基準規格値 (単位mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要							
第1章 コンクリートダム	第4節 ダムコンクリート工	1-4 コンクリートダム工 (導流壁)	天端高 ▽	±30	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 長さは、天端中心線の水平延長又は、測点に直角な水平延長を測定。								
			ジョイント間隔	±20									
			リフト高	±50									
			長さ	±100									
			厚さ	±20									
第2章 フィルダム	第3節 盛立工	2-3-5 コアの盛立	基準高 ▽	設計値以上	5測点につき1箇所以上測定。 ※外側境界線は標準機種(タンピングローラ)の場合。								
			外側境界線	-0, +500									
		2-3-6 フィルターの盛立	基準高 ▽	-0				5測点につき1箇所以上測定。					
			外側境界線	-0, +1000									
	2-3-7 ロックの盛立	基準高 ▽	-100	5測点につき1箇所以上測定。									
		外側境界線	-0, +2000										
	第3章 基礎グラウチング	第3節 ボーリング工	3-3 ボーリング工	深度 L	設計値以上	5本につき1箇所以上測定。 ※配置位置の規定は、コンクリート面で行うカーテングラウトに適用する。							
				配置誤差	100								
				2	フィルダム (洪水吐)				基準高 ▽	±20	図面の寸法表示箇所、任意の部分測定。		
				ジョイント間隔	±30								
				厚さ t	±20								
				幅 w	±40								
リフト高さ	±20												
長さ L	±100												